

宇都宮市立緑が丘小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
自分の考えを分かりやすく表現する力の育成	すべての学年で、ペアやグループで互いの考えを伝え合ったり、相談したりする場を意図的に設けたり、自分の考えを言葉で書き表す活動を多く取り入れたりする。	「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」の肯定割合は、5学年が市より高い。「自分の考えを理由をあげながら話すことができる」についての肯定割合は、3から6年生で2学年が市より高いが、6割台の学年もあり、十分とは言えない。
家庭学習の習慣化への指導	家庭学習のヒント集で、低・中・高で目指す家庭学習の時間や内容を知らせ、学年に応じて、宿題以外にも自主学習に取り組ませる。家庭学習カードに記入し習慣化を図るようにする。	「宿題はきちんとやり、期限までに提出している」についての肯定割合は、90%以上で、「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の肯定割合は市より高く、昨年度より上がっており、家庭学習カードなどによる家庭学習の習慣化が図れつつあるが、今後も継続して指導していきたい。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

基礎・基本の内容について定着を図るために、全学年を通じて、スキルタイムや朝の学習の時間を利用しての計算練習や家庭学習においても計算や漢字のドリルによる反復練習に今後も取り組むようにする。

「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の肯定割合は市より高く昨年より上がっているが、78.1%で、平日の家庭学習時間も3割近い児童が30分以下であり、家庭学習の習慣化を図る必要がある。「家庭学習のヒント集」を活用し、家庭への協力を求め、次年度も家庭学習の習慣化を図っていくようにする。

「話し合いの内容を聞き取り、計画的に話し合うためにどうすればよいか」を記述する設問については、正答率が57.6%であり、市の平均を7.6ポイント上回っている。ペアやグループでの話し合いを意図的に取り入れ指導したことで自分の考えを表現する力が徐々にではあるが付いてきている。全学年を通じて、自分の言葉で表現する指導の充実を図り、それに加え分かったことなどを書く活動も多く取り入れ、表現力の育成に努める。